



web

滋賀県立日野高等学校

溪泉同窓会

2010.10.14.(木)

溪泉

編集と発行：滋賀県蒲生郡日野町上野田150 日野高等学校内 事務局

名簿「溪泉」第13号 発行準備が始まりました



会報等でもお知らせしましたように、来年(平成23年)秋の名簿発行に向けての調査が10月1日から始まりました。

この調査は、今までどおり姫路市の株式会社サラトを通じて行われるものです。

個人情報保護の観点から十分注意して作業は行われておりますので、これまで同様、調査にはよろしくご協力いただきますよう、お願いいたします。

また、名簿への広告掲載依頼なども(株)サラトよりダイレクトメール等をお願いすることがあると存じますが、その節にはよろしくお願いいたします。

なお、名簿発行準備の時期などに本会および(株)サラトとは無関係の業者などが紛らわしい依頼を行うことが予想されます。もし、類似の調査や依頼など不審なことがありましたら、事務局または(株)サラトへ速やかにご連絡ください。

事務局 0748-52-1200

(株)サラト 079-284-1380

「県立日野高等学校の存続を求める請願」が 日野町議会で採択されました

前号でお知らせしましたように、滋賀県教育委員会の県立学校統廃合計画に対して、日野高等学校PTA・後援会・同窓会の三者連名で出された請願書が9月24日の日野町議会本会議で全会一致で採択され、これを受けた意見書が町議会議長名で関係機関へ提出されました。

全文は次のとおりです。

2010年(平成22年)9月1日

日野町議会
議長 杉浦 和人 様

請願者	滋賀県立日野高等学校	
	PTA会長	池内俊宏 ㊟
	後援会長	藤澤直広 ㊟
	同窓会長	住井泰之 ㊟
連絡先	滋賀県蒲生郡日野町上野田150番地	
	電話 0748-52-1200	
紹介議員		清水 隆 ㊟
		植島和子 ㊟
		對中芳喜 ㊟
		荒川武雄 ㊟
		平山敏夫 ㊟

県立日野高等学校の存続を求める請願

<請願の趣旨および理由>

滋賀県教育委員会は、「県立学校のあり方検討委員会」の報告を受けて、県立学校の統廃合計画を進めようとしています。

仮に、この報告に基づいて統廃合計画が実施されますと、現在1学年4学級の県立日野高等学校（以下「日野高校」）はその対象校に位置づけられるとのことで、最近、地域の地域情報紙などにも大きく取り上げられました。

ご承知のように、日野高校は明治38年（1905年）の創立以来、「蒲生野に文化の使命をにない一世紀」（創立百周年記念事業キャッチコピー）余りを歩んでまいりました。

この間、戦前の約40年は湖東地域の女子教育の中核として、裁縫・手芸・礼儀作法を重んじる全国にも名の知れた存在でした。また、戦後は近江日野商人発祥の地において商業教育を重視した男女共学の地域の高校として、さらに平成16年（2004年）からは総合学科の高校として、地域になくはならない存在となって、今日に至っています。

この間、1万7000人を超える同窓生は、地域の経済・文化・スポーツ等さまざまな分野で活躍され、大きな足跡を残してまいりました。

今、全国的にも人口の減少と都市集中が進み、県下でもJR線沿線以外の地域では過疎化が進み、地域の結びつきが薄れがちになっています。そんな中、日野高校は6割以上の生徒が自転車で通学する地域に密着した高校です。また、近隣市町から電車やバスを利用して通学する生徒にも地域の方々が温かく声を掛けてくださり、生徒達がそれに応えています。ボランティア活動や職業体験・職場実習、郷土学習の取り組みなど地域と密接に結びついた教育実践を長年推進してきた学校であり、地域の期待にも大きいものがあります。その意味で、地域になくはならない、文字通り「地域の高校」です。

こうしたことから、県が一学年6学級に満たない小規模校という「ものさし」のみで統廃合計画を推進されることのないよう、22世紀に向かって「新たな挑戦」（同キャッチコピー）を続ける日野高校の存続を強く求めるものです。

以上、地方自治法第124条の規定により、請願します。

<請願項目>

県立日野高等学校の存続を求めるよう、滋賀県知事、県教育委員会教育長に対して意見書を提出すること。